

令和 8 年 7 月 17 日

令和 8 年度 1 学期 学校評価における自己評価について（結果）

長島町立鷹巣中学校

- 1 実施日 令和 8 年 7 月 13 日
- 2 実施人数 教職員 10 人中 7 人が回答（管理職除く）
- 3 評価方法 ※ 教科の特性上評価不能の場合は、空欄で回答の場合あり

1 2 3 4

不十分 ← → 良い

4 評価結果

領域	番号	評 価 の 観 点	今学期の評価				評価平均値		
			4	3	2	1	1学期	2学期	3学期
学校 経営	1	学校教育目標の実現に向けた指導に努めている。＜全体＞	3	3	1	0	3.3		
	2	校務分掌の内容を理解し、相互に連携・協力しながら効率的な遂行に努めている。	1	4	1	1	2.7		
	3	職員の協働体制により学校が組織体として機能している。＜全体＞	0	6	0	1	2.7		
教育 課程	1	教科及び領域の指導を計画的に行なうよう努めている。	4	3	0	0	3.6		
	2	指導計画の修正や工夫・改善に努めている。	3	3	1	0	3.3		
学級 経営	1	学年・学級の和づくりと学級活動(生徒会活動)の活性化に努めている。	1	4	2	0	2.9		
	2	教師と生徒、生徒同士の人間関係の醸成に努めている。	4	3	0	0	3.6		
	3	基本的学習習慣の確立に努めている。	1	4	1	1	2.7		
	4	学級の教育環境整備(施設・設備管理・安全点検等)に努めている。	2	4	1	0	3.1		
	5	保護者（PTA等）、と連携した教育活動の推進に努めている。	1	4	2	0	2.9		
学力 向上	1	基礎的・基本的事項の理解と定着のための指導法改善に努めている。(北薩の授業づくり 3 ポイントの実践)	1	4	2	0	2.9		
	2	校内テストや諸検査結果を分析し、その課題を個に応じた指導に生かしている。	0	5	2	0	2.7		
	3	家庭学習(90分以上)の習慣化を図る指導の充実に努めている。	0	3	3	1	2.3		
	4	自ら学ぶ力を育てるための指導(見方・考え方・感じ方等の重視)に努めている。	1	6	0	0	3.1		

	5	タブレット等ICT機器を汎用的に活用する授業の実践に努めている。	2	2	3	0	2.9		
	6	読書指導(朝読書・図書室の利用等)の充実に努めている。	1	2	2	2	2.3		
	7	全国学調や鹿学調等の過去問や全国公立高校入試問題の活用 に努めている。	0	3	3	1	2.3		
特別 支援 教育	1	支援を要する生徒に対する全職員による共通理解に 立った指導体制・研修の推進に努めている。＜全体＞	0	6	1	0	2.9		
	2	特別支援教育の視点に立った個に応じた指導(合理的 配慮等)の充実に努めている。	0	6	1	0	2.9		
	3	保護者との連携・合意形成及び特別支援教育支援員と の連携に努めている。	0	4	2	1	2.4		
キャ リア 教育	1	将来の夢や希望の実現に向けた「生き方指導」や「啓 発的体験活動」の充実に努めている。	1	2	3	1	2.4		
	2	進路情報の収集・整備と効果的な活用 に努めている。	1	4	1	1	2.7		
	3	学級活動における進路学習の充実に努めている。 (キャリアパスポートの活用等)	1	1	4	1	2.3		
生徒 指導	1	生徒の人権を尊重しながら、個々の生徒との関りを大 切にし、信頼関係の絆を築く指導に努めている。	3	4	0	0	3.4		
	2	生徒指導体制の確立と共通理解・共通実践に努めてい る。	2	3	0	2	2.7		
	3	基本的な生活習慣の育成に努めている。 (あいさつ、返事、履物をそろえる、時間を守る、正し い言葉遣い、ものを大切にする等)	3	3	1	0	3.3		
	4	非行やいじめ・不登校傾向生徒の早期発見と共感的指 導に努めている。	1	6	0	0	3.1		
	5	子どもの良いところを見つけ出し、ほめる(承認する) よう努めている。	4	3	0	0	3.6		
	6	家庭との連携に努めている。(日常のきめ細やかな連 絡や家庭訪問)	0	5	0	2	2.4		
	7	外部機関(SC・SSW等)との連携に努めている。	1	2	2	2	2.3		
道徳 教育	1	道徳的実践力を高める授業の実践に努めている。	1	4	2	0	2.9		
	2	学級の実態に合った指導の充実に努めている。	1	4	2	0	2.9		
	3	問題解決的・体験的な学習等を取り入れた指導及び評 価の工夫に努めている。	1	3	2	1	2.6		

	4	命の大切さや人と人との関わりを大切にした生き方の指導に努めている。	2	4	1	0	3.1		
人権 同和 教育	1	全教育活動を通した人権同和教育の推進に努めている。	1	6	0	0	3.1		
	2	教職員の基本姿勢(見つめる(M)、思いをめぐらす(o)、向き合う(m))を意識した指導に努めている。	1	5	1	0	3.0		
	3	人権教育資料(「陽だまり」「仲間づくり」)等の活用に努めている。	0	2	4	1	2.1		
	4	いじめ問題に対して適切な対応に努めている。(いじめアンケート・鷹巣中いじめ防止基本方針・いじめ対策必携の活用、心の教育推進委員会の充実)	1	4	2	0	2.9		
特別 活動	1	学級活動の充実と生徒会活動との連携に努めている。	1	5	1	0	3.0		
	2	体験的活動を通した直接的な感動行事の推進に努めている。	0	6	1	0	2.9		
	3	生徒会活動の活性化(専門部の主体的活動)に努めている。	0	5	2	0	2.7		
	4	学校行事等へ積極的に生徒を参加させ「立場」で育てる教育の推進に努めている。	0	5	2	0	2.7		
総合 的な 学習	1	生徒が達成感や成就感を体得させることのできる活動の企画・運営に努めている。	1	5	1	0	3.0		
	2	地域人材・郷土の素材・施設を活かした活動の推進に努めている。＜全体＞	2	3	2	0	3.0		
	3	体験的な学習を重視した指導計画の作成に努めている。	1	4	1	1	2.7		
保健 安全	1	感染症防止対策(換気・手洗い等)に努めている。	3	3	1	0	3.3		
	2	う歯、視力低下・疾病等の早期治療の啓発と予防に努めている。(う歯治療率100%)	3	2	2	0	3.1		
	3	教科・領域等におけるエイズを含む性に関する指導、生命尊重・健康管理・薬物乱用防止教育・がん教育等の指導の充実努めている。＜全体＞	2	3	1	1	2.9		
	4	生徒の登下校の安全指導の充実努めている。	2	3	1	1	2.9		
	5	体格・体力・気力の向上(WCC等)や適切な部活動の実施に努めている。＜全体＞	2	5	0	0	3.3		
	6	清潔・安全・マナー(当番・食事)・完食を意識した給食指導に努めている。	2	5	0	0	3.3		
	1	花いっぱい为学校づくりに努めている。＜全体＞	1	5	0	1	2.9		

環境教育	2	計画的・継続的な校内・学級の設営・掲示の充実に努めている。	2	4	0	1	3.0		
	3	校内外の美化・清掃、整理整頓や用具の後始末等の「しかた指導」と見届けの徹底に努めている。	2	4	1	0	3.1		
	4	花壇の植栽・手入れを計画的に行い、花木を大切に作る心情を育てよう努めている。	0	5	1	1	2.6		
職員研修	1	校内研究テーマに基づく研修は、組織的・計画的に推進されている。〈全体〉	0	6	1	0	2.9		
	2	タブレット等ICT機器活用の研修に努めている。	1	3	3	0	2.7		
	3	校外研修・来所研修への積極的な参加と内容の伝達に努めている。	0	5	1	1	2.6		
	4	研究授業・授業研究の推進に努めている。	0	4	3	0	2.6		
業務改善	1	校務支援システム(スズキ校務・See-Smile等)を活用し業務の効率化を図っている。	2	3	2	0	3.0		
	2	一人ひとりが課題意識をもって取り組む「1 T r y」を設定し取り組んでいる。	1	3	3	0	2.7		
	3	定時退校日や退勤目標時刻を意識した校務の推進に努めている。	1	5	1	0	3.0		
三者連携	1	各種便りの発行やブログやホームページの更新、内容の充実に努めている。	0	4	2	1	2.4		
	2	授業参観やP T A活動を工夫し充実するように努めている。	0	4	2	1	2.4		
	3	生徒の地域行事等への積極的な参加に努めている。	1	3	1	2	2.4		

<分析：NotebookLMを活用>

エグゼクティブ・サマリー：1学期の成果と次なる挑戦



自律の芽生え

生徒の学校生活への満足度は極めて高く（98%）、行事や授業への前向きな姿勢が見られます。給食準備の迅速化など、自ら動く力も育ちつつあります。



認識のギャップ

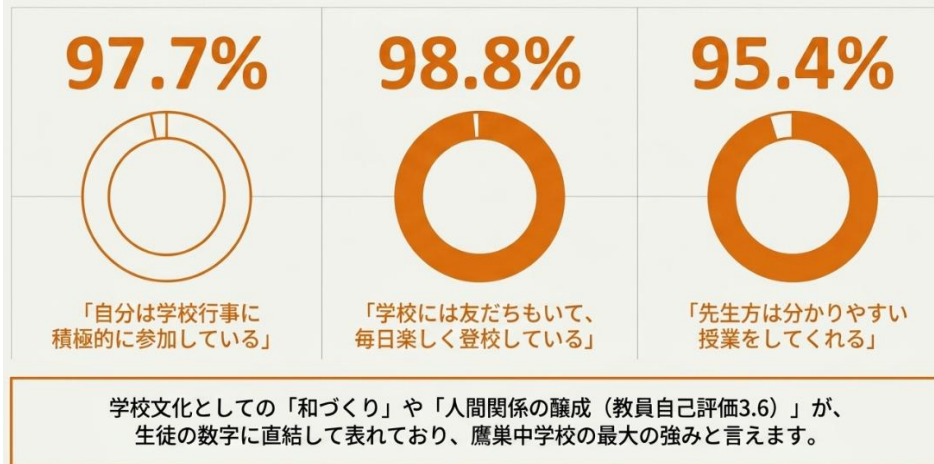
一方で、家庭学習の時間（90分）や挨拶、配布物の伝達において、「できている」と評価する生徒に対し、保護者の評価は厳しく、ここに改善のヒントがあります。



働き方のパラドックス

教員の協働体制は強固ですが、「定時退校日」の裏で昼休みの消失や休日への業務シフトが発生しており、持続可能なシステムへの再構築が急務です。

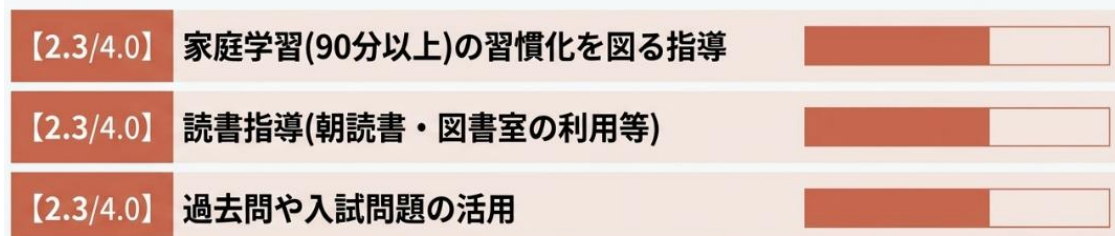
生徒の声：学校生活への高い満足度と帰属意識



教職員の強み：計画的指導と強固な人間関係の構築

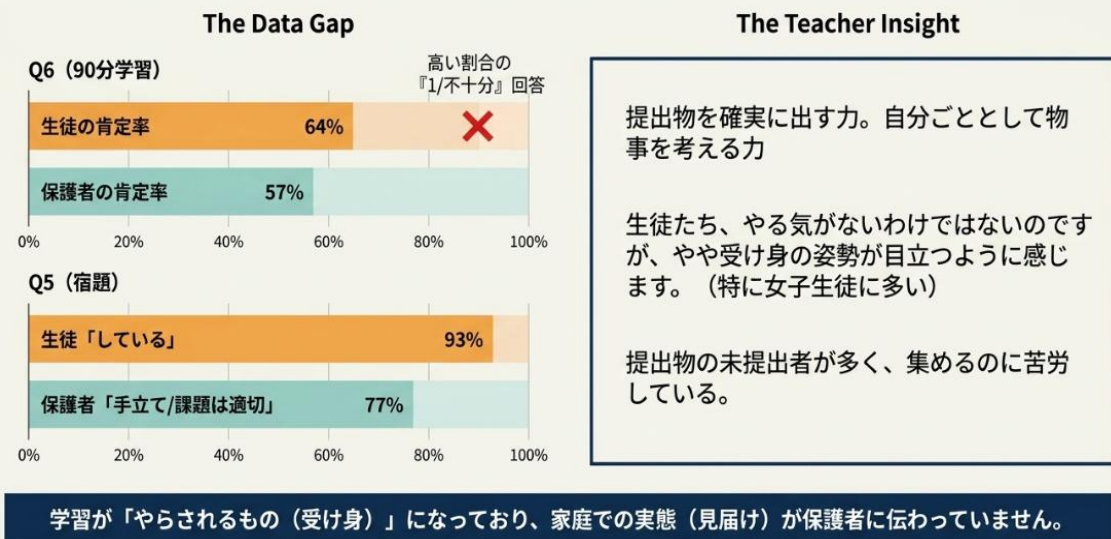


教職員の課題：学力向上・家庭学習の定着への壁



学力向上（ドリル的学習や家庭学習の定着）と、外部・家庭への情報発信（2.4点）に課題意識が集中しています。これは後の生徒・保護者アンケートの「ギャップ」と密接に連動しています。

ディープダイブ①：見えない家庭学習と「受け身」の姿勢



統合インサイト：「管理」から「自律」へのシフト



解決の鍵は、生徒自身による「見届け」の仕組み化です。

2学期に向けた3つの重点アクション

